

開講科目と取得可能な単位について

1. 開講科目及び単位について

TAIST-Tokyo Tech Exchange Program in Thailand 2019 自動車工学プログラムでは、表 1 に示す科目・講義を開講しています。プログラム参加者は、科目を一つ教務 Web システムで申告の上、現地で講義(1), (2), (3)のいずれか一つを全日程（平日の午前または午後の半日×5日間）受講します。これに加え、講義受講日の半日（×5日間）及びその前後の平日（3日以上）を利用して、各講義の NSTDA パートナー教員の研究室^(注1)において、測定機器を利用した演習（インターンシップ）に取り組みます。講義を全日程受講し、インターンシップに計 20 時間以上取り組み、既定の評価基準を満たした者には、2 単位が付与されます^(注3, 4, 5)。

表 1 開講科目および講義

開講科目 ^(注2)	講義	講義日程	担当教員
MEC.U441 Automotive Structural System Engineering B	(1)Overview on Vehicle Research and Development	9/16-9/20	山浦弘
	(3)Structural Mechanics for Automobiles	9/23-9/27	因幡和晃
MEC.U447 Advanced Material Science and Engineering B	(2)Micro Structure of Engineering Materials	9/30-10/4	大竹尚登
MEC.U441 Automotive Structural System Engineering B	(2)Suspension and Drive-train Systems	10/7-10/11	大熊政明
MEC.U442 Automotive Comfort Mechanics Engineering B	(2)Aerodynamics and Air Conditioning	10/14-15-18	花村克悟
MEC.U442 Automotive Comfort Mechanics Engineering B	(1)Electronics and Control Engineering	10/21-10/22, 10/24-10/25	山北昌毅
MEC.U443 Advanced Production Engineering B	(3)Welding and Joining	10/28-11/1	高橋邦夫
MEC.U443 Advanced Production Engineering B	(2)Quality and Operations Management	11/11-11/15	鈴木定省
MEC.U442 Automotive Comfort Mechanics Engineering B	(3)Vibration and Noise Engineering	11/25-11/29	大熊政明
MEC.U443 Advanced Production Engineering B	(1)Fundamentals of Production Technology	12/2-12/4, 12/6	吉野雅彦
MEC.U444 Advanced Internal Combustion Engine Engineering and Future Power Train B	(3)Future Power Train for Sustainable Community	2/24-2/28	平井秀一郎
	(2)Zero Emission Technologies	3/2-3/6	花村克悟
	(1)Fundamentals of Combustion and Diagnostics in IC Engines	3/9-3/13	小酒英範

(注 1) インターンシップを行う NSTDA パートナー教員の研究室は、講義の受講場所と同様、タイランドサイエンスパーク内にあります。場合によっては、インターンシップ先に在タイ企業が追加されます。

(注 2) 同一名称の科目 A (3 単位) と科目 B (2 単位) があるので注意してください (科目コードは別です)。今回の現地派遣プログラムは、表 1 記載の科目 B (2 単位) を選択してください。科目 A (3 単位) は講義(1), (2), (3)を遠隔配信にて日本で連続して 3 週間受講するもので、今回の現地派遣プログラムとは異なります。なお、教務 Web システムでの申告については、表 1 の科目は 3-4Q 開講科目のため、派遣決定後 2019 年 9 月下旬から 10 月中旬までの履修申告期間内に申告してください。履修申告期間後に派遣が決定する場合は、追加申告を行ってください。

- (注3) 表1内の科目は大学院開講科目のため、学部生が申告する場合は研究室に所属していることが必要です。申告手続きは「大学院授業科目受講願」により行います。学部生が申告し規定の評価基準を満たした場合、大学院進学後に所定の手続きにより申請することで2単位が付与されます。既に大学院科目を10単位(所属学科により10単位未満の場合あり)履修している学生は申告できません。
- (注4) 上記注3に該当し、表1の科目を申告できない学部学生は、所定の手続きを経て、学士課程科目「グローバル理工人研修」の申告が可能です。詳細は前頁記載のTAIST事務室まで申請前にメールで連絡してください。
- (注5) 2020年3月に卒業・修了を予定している学生は、2月23日(日)までに帰国し、2月25日(火)までに帰国報告会で発表を行う必要があります。

2. 講義の受講パターンについて

本派遣プログラムで単位を取得するためには、講義の全日程受講(半日×5日間)及びインターンシップへの参加(講義受講期間を含む平日8日以上かつ計20時間以上)が必要ですが、講義の受講は、派遣期間のどこでも構いません。(パターン①～③参照)。

応募に際しては、まずは表1より受講を希望する講義を選択し、次にその前後の平日で3日以上(講義期間と間をあけないこと)かつ日程全体で計20時間以上インターンシップに参加できるよう、日程を検討して下さい。インターンシップは、午前、午後それぞれ3時間程度が目安となります。渡航日を含む全日数(休日含む)は、30日以内として下さい。

<パターン①>派遣1週目に講義を受講し、2週目以降はインターンシップに参加

1週目	2週目以降 ^(注6)			取得単位数
半日:講義 (3時間×5日) 半日:インターンシップ	インターンシップ			2

<パターン②>派遣2週目に講義を受講し、1週目と3週目以降はインターンシップに参加

1週目	2週目	3週目以降 ^(注6)		取得単位数
インターンシップ	半日:講義 (3時間×5日) 半日:インターンシップ	インターンシップ		2

<パターン③>派遣3週目に講義を受講し、1週目、2週目、4週目以降はインターンシップに参加

1週目	2週目	3週目	4週目以降 ^(注6)	取得単位数
インターンシップ	インターンシップ	半日:講義 (3時間×5日) 半日:インターンシップ	インターンシップ	2

- (注6) インターンシップに平日3日以上(講義受講期間を除く)かつ日程全体で計20時間以上取り組んでいれば、それ以降の滞在は任意